

沿岸定線観測速報 ちば (2022年10月)

ふさみ丸：10月15~17日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和4年10月19日

水温は、銚子・九十九里海域でやや高め、外房海域では平年並でした (表1)。
※10月の観測は海況が悪く、c4~c12、k1、k3~6の沖側各点で観測ができませんでした。

各水深における平均水温は、銚子・九十九里海域の水深0、50、200mでやや高め、銚子沖水深100m及び外房海域水深0、50、100、200mで平年並みでした (表1)。

水深10mでは、犬吠埼沖に暖水波及が見られました (図2、図4)。全域で水深10mよりも100mの方が塩分が高くなっていました (図3、図5)。また犬吠埼沖の水深350~450mには低温・低塩分 (8°C以下、34.2以下) の水塊が見られました (図4、図5)。

クロロフィル濃度は、水深10mでは0.9 μg/L未満、50mでは0.7 μg/L未満で比較的低い値を示しました (図6)。

キンメダイ漁場は、勝浦沖では水温が70m以深で前年より3~4°C高め、塩分は水深30~50mで前年より0.3~0.5低め、100m以深で0.1~0.2高めでした (図7左)。銚子沖では水温が水深70~110mで1~2°C低め、塩分は勝浦沖と同様に水深30~50mで0.1~0.3低め、水深70~160mで0.1~0.4高めでした。 (図7右)

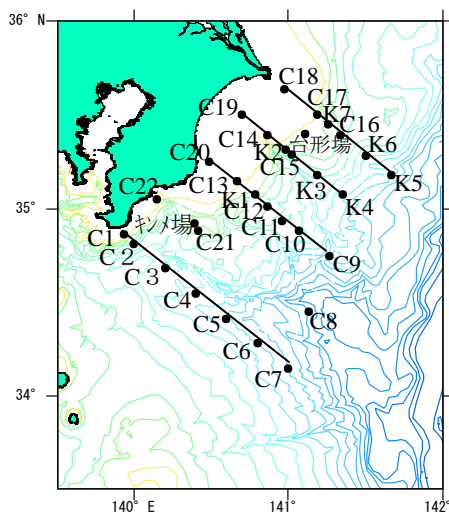


図1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島崎南東線

表1 海域別平均水温 (°C) と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	24.80 やや高め	24.20 やや高め	18.87 平年並み	14.67 やや高め
外房	24.76 平年並み	22.51 平年並み	16.84 平年並み	13.52 平年並み

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14~20 計7点、外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安 (σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ ~
高め	1.3 σ ~ 2.0 σ
やや高め	0.6 σ ~ 1.3 σ
平年並み	0.0 σ ~ 0.6 σ, -0.6 σ ~ 0.0 σ
やや低め	-0.6 σ ~ -1.3 σ
低め	-1.3 σ ~ -2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ ~

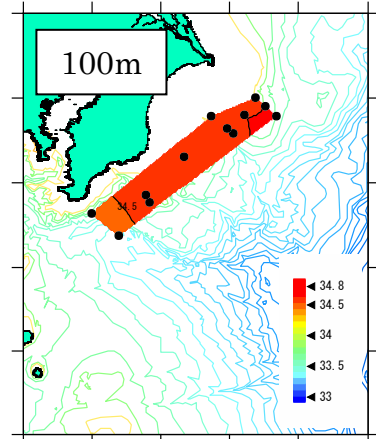
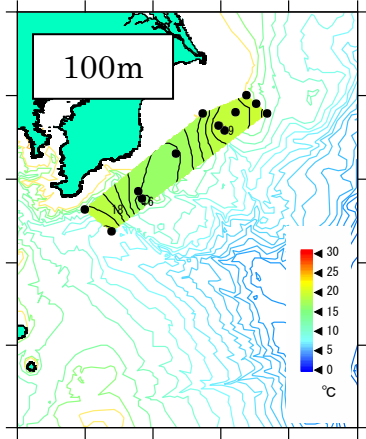
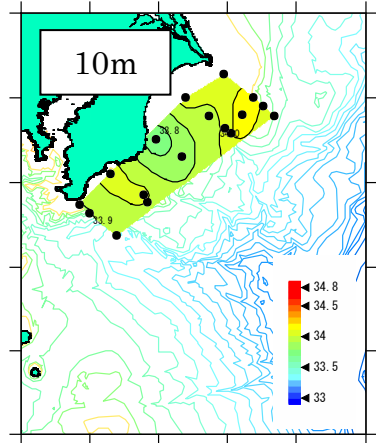
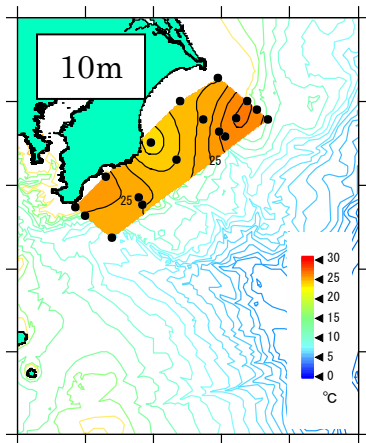


図2 水深別の水温分布

図3 水深別の塩分分布

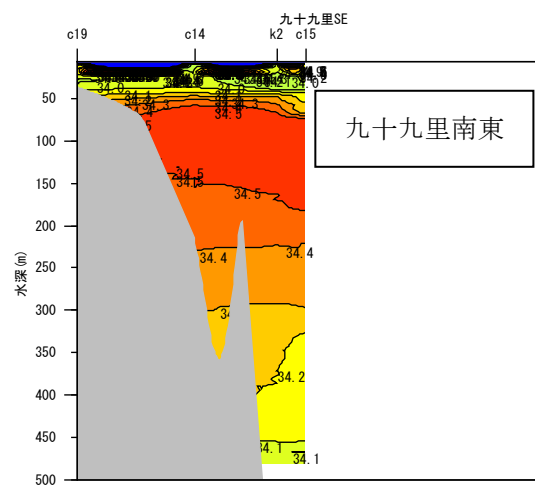
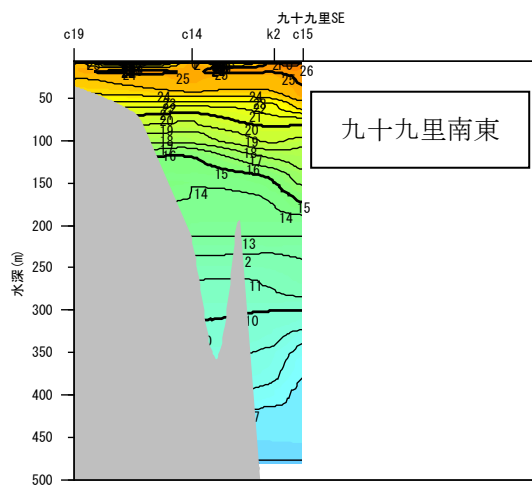
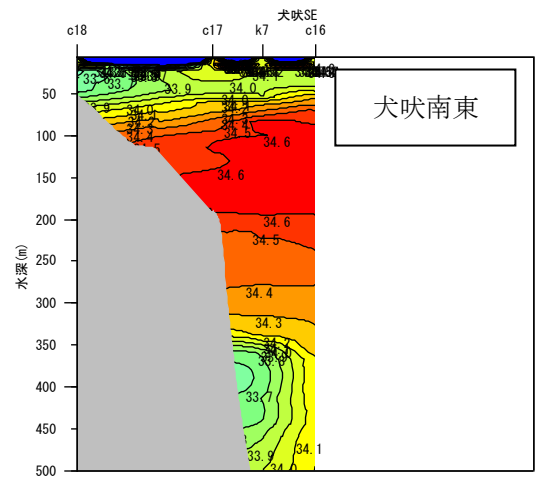
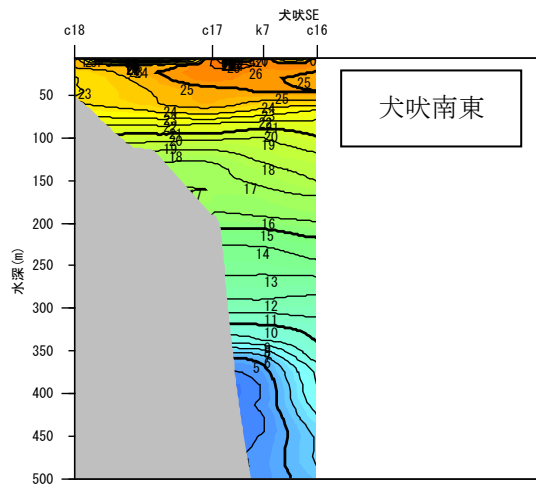


図4 水温鉛直分布

図5 塩分鉛直分布

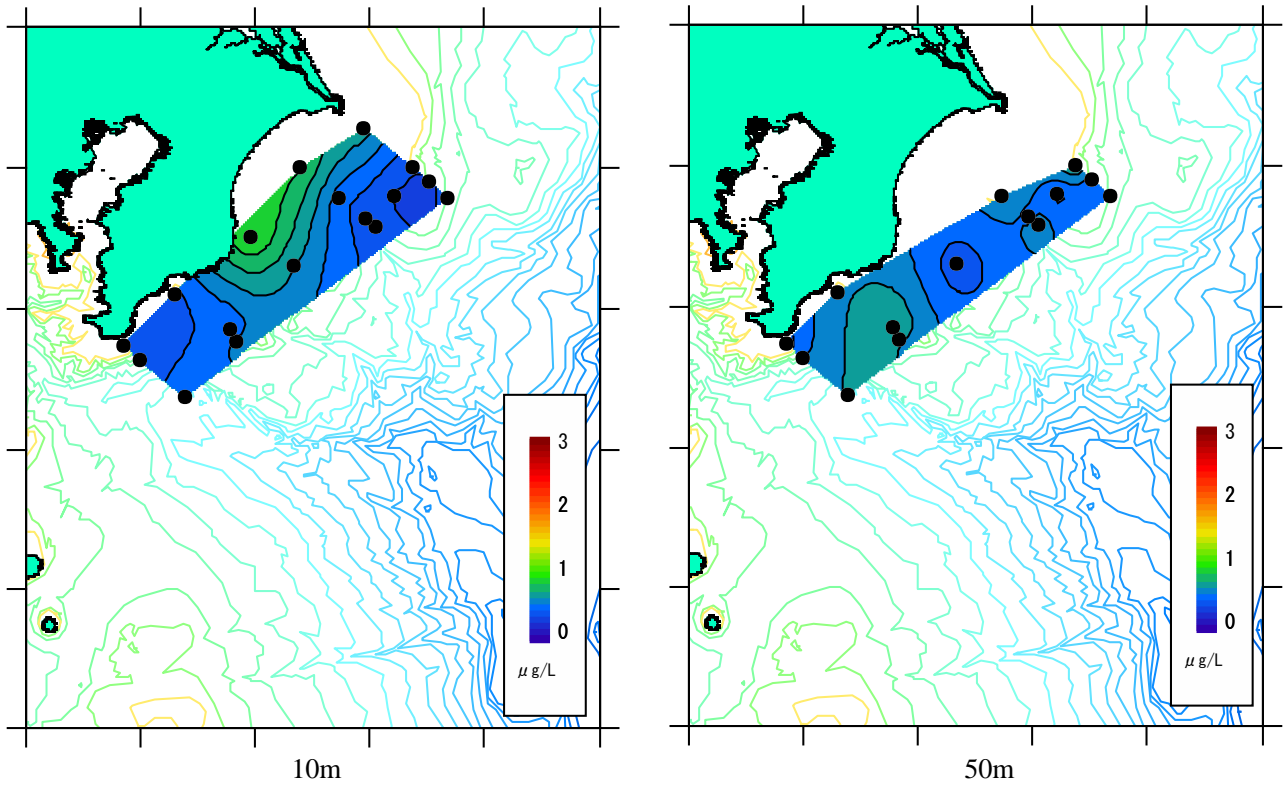
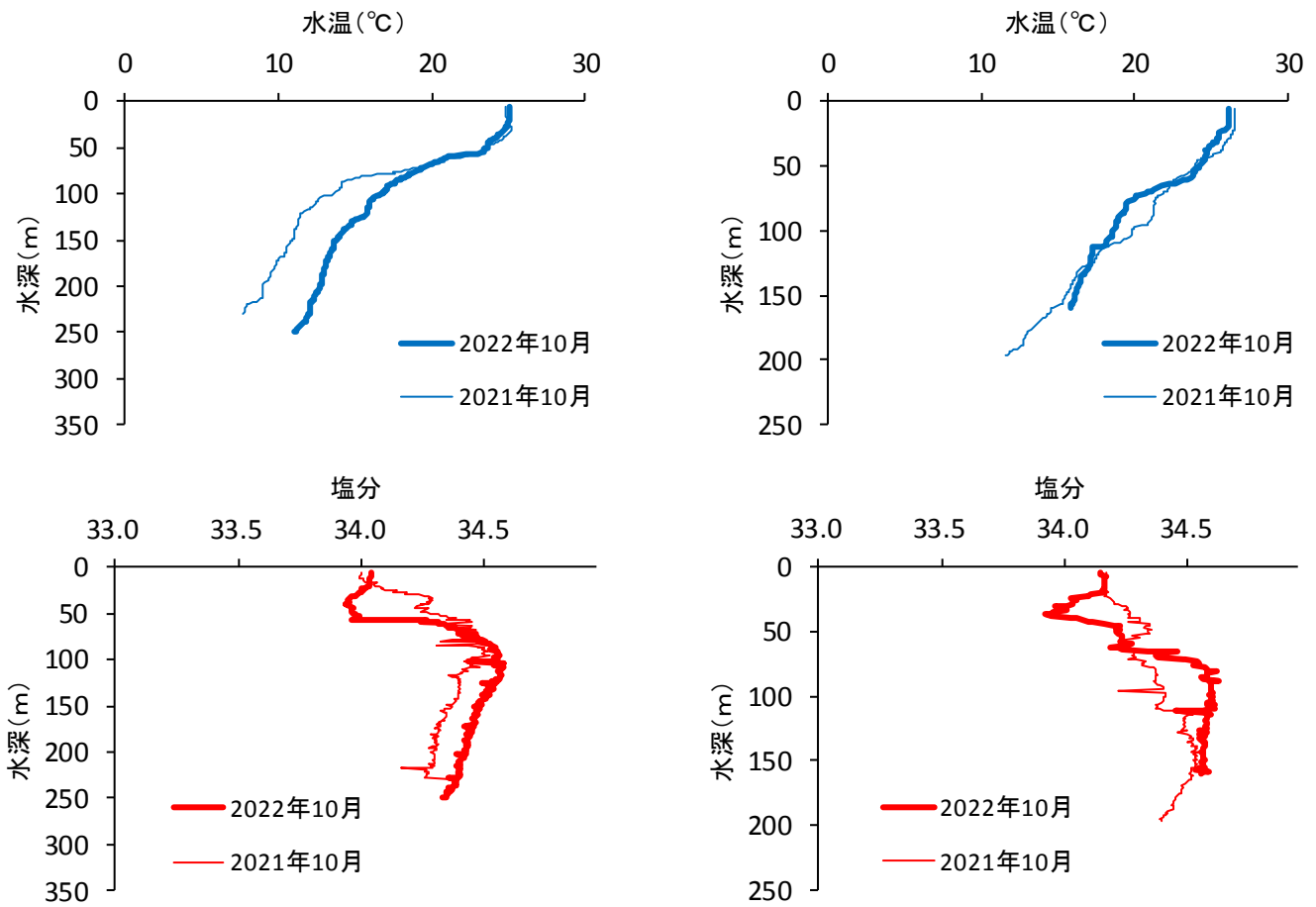


図6 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図7 キンメダイ漁場の水温、塩分鉛直分布 (青: 水温、赤: 塩分)